漢字の成り立ち

漢字の成り立ちには、象形・指事・会意・形声がある。

①**象形**…物の形を、かたどって表す。

（例）山・月・馬

②**指事**…概念(がいねん)や事柄(ことがら)を、記号や印で表す。

（例）上・下

③**会意**…二つ以上の字を組み合わせ、新しい意味を表す。

（例）鳴（口＋鳥　で、「鳴く」の意味を表す。）

休（人＋木　で、「休む」の意味を表す。）

④**形声**…意味を表す部分（意符(いふ)）と、音を表す部分（音符）を組み合わせ、新しい漢字を表す。

（例）江（意符「氵」＋音符「工(コウ)」）

晴（意符「日」＋音符「青(セイ)」）

※多くの音符は、音だけではなくなんらかの意味も表しており、辞典によってはこのような漢字を会意形声と分類している。

漢字の作り方を説明する象形・指事・会意・形声に、漢字の使い方を説明する転注・仮借(かしゃ)を加えて**六書**(りくしょ)という。

⑤**転注**…漢字の元の意味が広がって、他の意味に使われる。

（例）楽（元は「音楽」という意味だが、音楽を楽しむことから「楽しい」という意味にも使われる。）

⑥**仮借**…漢字の元の意味とは関係なく、音のみを借りて使われる。

（例）豆（元は「食べ物を盛る器(うつわ)」という意味だが、「トウ」の音を借りて「まめ」の意味で使われる。）

漢字の中には日本で独自に作られたものもあり、**国字**という。国字の多くは会意文字である。

（例）畑(はたけ)・峠(とうげ)・働

確認テスト

(1) 次の漢字の成り立ちを、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 花〔　　〕　② 二〔　　〕　③ 明〔　　〕　④ 象〔　　〕

ア 象形　**イ** 指事　**ウ** 会意　**エ** 形声

(2) 次の漢字の成り立ちを、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 目〔　　〕　② 紙〔　　〕　③ 看〔　　〕　④ 本〔　　〕

ア 象形　**イ** 指事　**ウ** 会意　**エ** 形声

(3) 次の成り立ちの漢字を、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 象形〔　　〕　② 指事〔　　〕

③ 会意〔　　〕　④ 形声〔　　〕

ア 川　**イ** 林　**ウ** 園　**エ** 三

(4) 次の成り立ちの漢字を、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 象形〔　　〕　② 指事〔　　〕

③ 会意〔　　〕　④ 形声〔　　〕

ア 悲　**イ** 利　**ウ** 米　**エ** 末

(5) 次の――線部をそれぞれ漢字に直しなさい。

① 学コウに行く。〔　　〕

② コウ外に住む。〔　　〕

③ コウ果がある。〔　　〕